

(申請書)

記入例

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成〇年〇月〇日

文部科学大臣殿

霞が関大学 学長
文部 太郎 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

課程名: 〇〇研究科〇〇専攻〇〇プログラム〇〇コース

記載いただく課程名については、認定告示に使用するため、必ず貴学の規程や募集要項等に定める(予定を含む。)正式名称を記載してください。

①学校名:	霞が関大学 大学院	②所在地:	東京都千代田区霞が関3-2-2		
③課程名:	〇〇研究科〇〇専攻〇〇コース	④正規課程/履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2012/4/1
⑥責任者:	〇〇研究科長 〇〇〇〇	⑦定員:	〇〇専攻50名 (平成26年度〇〇コース修了者数18名)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程の目的・概要:	〇〇における、〇〇や〇〇の養成を目指したプログラムである。本プログラムでは、〇〇や〇〇等を学修し、〇〇や〇〇等を実施することにより、〇〇や〇〇の能力を得ることを目指す。〇〇や〇〇として活躍するために必要な能力を修得する。				
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍 地方創生	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 〇〇の経験を有する者 〇〇に従事する者 		
⑫対象とする職業の種類:	〇〇担当者、〇〇職員、〇〇に従事する者、〇〇であって〇〇を目指す者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・〇〇に関する知識 ・〇〇の技術、技能		(得られる能力) ・〇〇できる能力 ・〇〇の能力		
⑭教育課程:	〇〇学<科目>や△△論<科目>等により基礎的な〜〜に関する知識を修得するとともに、△△実習Ⅰ(X時間)<科目>において〜の実験、□□学<科目>において〜の実地調査やグループ討議を行うこと等により、〜〜に関する知識・技術を修得させる。その過程において、特に〜実践的な授業方法等(例えば、実験や実地調査、グループ討議等)を行うことにより、〜〜能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	〇単位以上の取得、〇〇の提出及び審査の合格				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(〇〇学)、〇〇士				
⑰総授業時数:	60 単位	⑱要件該当授業時数:	42単位	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	70%
⑳成績評価の方法:	出席状況、筆記試験の成績、プレゼンテーションの内容、〇〇、〇〇・・・を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「〇〇委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、〇〇や〇〇を実施し、その結果を〇〇することにより効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 〇〇及び〇〇により組織する〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 〇〇するための〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間、土日開講、ビデオ補講、集中講義、託児所、オンライン受講、〇〇・・・				
㉕ホームページ:	(URL)http://www.kasumi.ac.jp				

300~400字程度

高等学校卒業以上としている旨を明記してください。その他に履修資格を設けている場合には併せて記載してください。

厚生労働省編職業分類 (https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw_job_dictionary.html)を参考に記載してください。

身に付けられる知識、技術、技能と得られる能力は、必ず分けて記載してください。

科目や授業方法を例示しながら具体的に記載してください。

⑳と整合するようになしてください。

正規課程の場合は学位を記入してください。また、修了時に独自の資格等を付与する場合には、併せて、その名称を記入してください。

⑰~⑲: 様式2と整合するようになしてください。

⑮と整合するようになしてください。

学校教育法第109条第1項に定める評価を実施している旨を記入するとともに、その他に独自の自己点検・評価を行っている場合には合わせて記載してください。

様式3と整合するようになしてください。附属又は同系列の機関のみでなく、外部機関からの意見を組織的に受け入れる仕組みであることが分かるように記入してください。

基本的にこちらに記載の担当者、連絡先のみを連絡窓口としますので、対応できる方を記載してください。申請もこちらに記載のアドレスから行ってください。

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

大学
大学院
短期大学
高等専門学校
正規課程
正規課程(専攻科)
正規課程(別科)
履修証明プログラム

記載いただく課程名については、認定告示に使用するため、必ず貴学の規程や募集要項等に定める(予定を含む。)正式名称を記載してください。

①学校名:	霞が関 大学	②所在地:	東京都千代田区霞が関3-2-2		
③課程名:	〇〇〇〇プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2012/4/1
⑥責任者:	〇〇センター長 〇〇〇〇	⑦定員:	50名	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	〇〇における、〇〇や〇〇の養成を目指したプログラムである。本プログラムでは、〇〇や〇〇等を学修し、〇〇や〇〇等を実施することにより、〇〇や〇〇の能力を得ることを目指す。〇〇や〇〇として活躍するために必要な能力を修得する。				
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	・学校教育法第90条に規定する大学に入学者である者 ・〇〇の経験を有する者 ・〇〇に従事する者		
⑫対象とする職業の種類:	〇〇における〇〇の担当者、〇〇に従事する者、〇〇であり〇〇を目指す者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・〇〇に関する知識 ・〇〇の技術、技能		(得られる能力) ・〇〇できる能力 ・〇〇の能力		
⑭教育課程:	〇〇学<科目>や△△論<科目>等により基礎的な～～に関する知識を修得するとともに、△△実習Ⅰ(X時間)<科目>において～～の実験、口頭学<科目>において～～の実地調査やグループ討議を行うこと等により、～～に関する知識・技術を修得させる。その過程において、特に～実践的な授業方法等(例えば、実験や実地調査、グループ討議等)を行うことにより、～～能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	〇時間以上の履修及び〇〇試験の合格による修了認定				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、〇〇修了証、〇〇士、〇〇マスター				
⑰総授業時数:	60 時間	⑱要件該当授業時数:	42時間	⑲要件該当授業時数/総授業時数:	70%
⑳成績評価の方法:	出席状況、筆記試験の成績、プレゼンテーションの内容、〇〇、〇〇・・・を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「〇〇委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、〇〇や〇〇を実施し、その結果を〇〇することにより効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 〇〇及び〇〇により組織する〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 〇〇するための〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間、土日開講、ビデオ補講、集中講義、託児所、オンライン受講、〇〇・・・				
㉕ホームページ:	(URL)http:www.kasumi.ac.jp				

300字～400字程度

高等学校卒業以上としている旨を明記してください。その他に履修資格を設けている場合には併せて記載してください。

厚生労働省編職業分類
(https://www.hellowork.go.jp/info/mhlw_job_dictionary.html)を参考に記載してください。

身につけられる知識、技術、技能と得られる能力は、必ず分けて記載してください。

科目や授業方法を例示しながら具体的に記載してください。

⑳と整合するようになっています。

履修証明プログラムの場合は「履修証明書」が付与される旨を記入してください。また、修了時に独自の資格等を付与する場合には、併せてその名称を記入してください。

⑰～⑲:様式2と整合するようになっています。

⑮と整合するようになっています。

学校教育法第109条第1項に定める評価を実施している旨を記入するとともに、その他に独自の自己点検・評価を行っている場合には合わせて記載してください。

様式3と整合するようになっています。附属又は同系列の機関のみでなく、外部機関からの意見を組織的に受け入れる仕組みであることが分かるように記入してください。

基本的にこちらに記載の担当者、連絡先のみを連絡窓口としますので、対応できる方を記載してください。申請もこちらに記載のアドレスから行ってください。

事務担当者名:	文部 花子	所属部署:	〇〇部〇〇課
連絡先:	(電話番号)03-6734-4111 (E-mail)senmon@kasumi.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

(様式2)

授業科目の概要について

4つの方法のいずれかに該当する科目の単位数の合計となります。(○の合計です。)

学校名:	霞ヶ関大学大学院
課程名:	〇〇研究科〇〇専攻〇〇コース

要件該当授業時数:	42単位
要件該当授業時数/総授業時数:	70%

4つのうちの1つ以上の方法に該当すれば要件該当科目となります。

様式1⑱⑲と整合するよう
にしてください。

分類	科目名	配当年次	単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	〇〇〇〇〇	1	2					〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科
必修	〇〇〇〇〇	1	②		○			××××	虎ノ門大学〇〇学部
必修	〇〇〇〇〇	1	②	○	○	○		〇〇〇〇 ××××	霞ヶ関大学△△学部 株式会社×××
必修	〇〇〇〇〇	1	2					〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科
必修	〇〇〇〇〇	1	②			○		〇〇〇〇 △△△△	霞ヶ関大学××学部 NPO法人△△△
必修	〇〇〇〇〇	1	②		○			△△△△	霞ヶ関大学△△研究科
必修	〇〇〇〇〇	1	2					××××	虎ノ門大学〇〇学部
必修	〇〇〇〇〇	1	②	○				△	大学に所属する実務家教員に ついては、所属の後ろに(実 務家教員)と記載してください。
必修	〇〇〇〇〇	1.2	2					〇	〇
必修	〇〇〇〇〇	1.2	④		○		○	〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科(実務家教員)
選択必修	〇〇〇〇〇	1	②	○	○			△△△△	霞ヶ関大学△△研究科
選択必修	〇〇〇〇〇	1	2					〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科
選択必修	〇〇〇〇〇	1	2					××××	虎ノ門大学〇〇学部
自由選択	〇〇〇〇〇	1	2					△△△△	霞ヶ関大学△△研究科
自由選択	〇〇〇〇〇	1	②		○			〇〇〇〇	霞ヶ関大学××学部
自由選択	〇〇〇〇〇	1	2					〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇学部
自由選択	〇〇〇〇〇	1	2					××××	虎ノ門大学××研究科
自由選択	〇〇〇〇〇	1.2	④		○	○	○	〇〇〇〇 ××××	霞ヶ関大学△△研究科 ××市役所
自由選択	〇〇〇〇〇	1.2	⑩	○	○		○	〇〇〇〇	霞ヶ関大学××学部
自由選択	〇〇〇〇〇	1.2	⑩	○	○		○	××××	虎ノ門大学〇〇学部
合計:	20科目							60	単位

「実務家教員や実務家による
授業」に該当する場合は、担当
教員名に加え、実務家教員名、
実務家名を記載してください。

大学に所属する実務家教員に
ついては、所属の後ろに(実
務家教員)と記載してください。

様式1⑰と整合するよう
にしてください。

時間
受講者が受講可能な全ての科目
(必修・選択必修・自由選択を問
わない)の合計科目数、合計単
位数を記入してください。

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。

(様式2)

授業科目の概要について

4つの方法のいずれかに該当する時間数の合計となります。(○の合計です。)

学校名:	霞ヶ関大学大学院
課程名:	〇〇〇〇プログラム

要件該当授業時数:	84時間
要件該当授業時数/総授業時数:	70%

4つのうちの1つ以上の方法に該当すれば要件該当科目となります。

様式1⑱⑲と整合するよう
にしてください。

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	〇〇〇〇〇		6					〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科
必修	〇〇〇〇〇		⑥/12		○			××××	虎ノ門大学〇〇学部
必修	〇〇〇〇〇		⑫	○	○	○		〇〇〇〇 ××××	霞ヶ関大学△△学部 株式会社×××
選択必修	〇〇〇〇〇		⑱			○	○	〇〇〇〇 △△△△	霞ヶ関大学××学部 NPO法人△△△
選択必修	〇〇〇〇〇		6					〇〇〇〇	霞ヶ関大学××学部
自由選択	〇〇〇〇〇		⑫/18		○			△△△△	霞ヶ関大学△△研究科
自由選択	〇〇〇〇〇		⑥/18	○				△△△△	虎ノ門大学〇〇学部
必修	〇〇〇〇〇		⑳	○	○	○	○	〇〇〇〇	霞ヶ関大学〇〇研究科(実務家教員)
合計:	8科目					120			時間

「実務家教員や実務家による授業」に該当する場合は、担当教員名に加え、実務家教員名、実務家名を記載してください。

・一部の時間が要件に該当する場合は、各科目毎に、「要件該当授業時数/総授業時数」の形で記入してください。
・全ての時間が該当する、又は、しない場合は総授業時数のみ記入してください。

大学に所属する実務家教員については、所属の後ろに(実務家教員)と記載してください。

受講者が受講可能な全ての科目(必修・選択必修・自由選択を問わない)の合計科目数、合計時間数を記入してください。また、様式1⑰と整合するよう
にしてください。

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。
* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を入れた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。

企業等との連携について

様式2で企業等に○を付けた全ての科目について、科目毎に記載が必要です。

学校名:	霞ヶ関大学大学院	課程名:	〇〇研究科〇〇専攻〇〇コース
------	----------	------	----------------

1. 企業等と連携して行う授業

科目名	連携内容・方法	連携企業等			
		企業等名称	所在地	担当者名・役職	連絡先
〇〇〇〇	〇〇の実践演習として株式会社×××の〇〇に関する課題について、解決策の策定、企業担当者へのプレゼンテーション、審査を通じた教育を行う。	株式会社×××	東京都・・・	〇〇〇〇・〇〇部長	XX-XXXX-XXXX
当該企業等を連携先に選定した理由					
本課程の目的である〇〇の養成について、〇〇であることから適しており、〇〇による教育効果が高く、特に〇〇の能力の獲得に資するものと考えられるため。					

科目名	連携内容・方法	連携企業等			
		企業等名称	所在地	担当者名・役職	連絡先
インターンシップ	インターンシップ事前説明会を行う。NPO法人〇〇の作成したインターンシッププログラムに基づき、実際に〇〇や〇〇を経験する。参加者はインターンシップ修了時にNPO法人〇〇の代表にインターンシップの報告を行い、評価を受ける。	NPO法人〇〇	東京都・・・	代表〇〇〇〇	XX-XXXX-XXXX
当該企業等を連携先に選定した理由					
〇〇の職業を希望する本課程の受講者にとって、〇〇の分野の知見を有する当法人でのインターンシップを通じて〇〇を得ることができるため。また、代表の〇〇氏は本課程の修了者であり、十分な理解と協力が得られるため。					

インターンシップや実習については、単に受講生を受入れているということのみでは連携しているとは認められません。実習プログラムの策定や事前学習や事後のフォロー等、当該科目全体において、企業等と連携していることが分かるよう具体的に記載してください。

2. 企業等の意見を取り入れる仕組み

①教育課程の編成

連携企業等名	科目での連携企業を選定することも可能ですが、その場合には当該科目のみでなく、課程全体への組織的な意見を取り入れることが可能であることが分かるように記載してください。	連絡先	XX-XXXX-XXXX
株式会社〇〇〇	当該企業等を連携先に選定した理由	「〇〇」、「〇〇」、「〇〇」の授業を連携して行っており、また、〇〇や〇〇に関する知見を有するため、本課程の目的である〇〇の養成について、有益なご意見を得ることができると考えられるため。	

連携企業等名称	申請する大学等の附属機関や同系列の組織のみでなく、外部の組織を含む必要があります。	連絡先	XX-XXXX-XXXX
〇〇市役所	当該企業等を連携先に選定した理由	本課程は〇〇市の〇〇を担う人材の育成を目的としており、地域における人材育成について、知見を有する〇〇市役所の意見を取り入れることで、より教育効果の高い教育課程を編成することが可能となるため。	

様式1②と整合するようにしてください。

意見を取り入れる仕組み	〇〇及び〇〇(学外の者)により組織する〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。
意見を教育課程に反映させる方策	〇〇委員会(会議)で出された意見について、本課程の企画・運営を担う△△委員会において関係者で共有し、〇〇委員会(会議)での意見を取り入れながら教育課程の編成を行う。

②自己点検・評価

申請する大学等の附属機関や同系列の組織のみでなく、外部の組織を含む必要があります。

連携企業等名称	所在地	担当者名・役職	連絡先
NPO法人〇〇〇〇	東京都・・・	〇〇〇〇・〇〇本部長	XX-XXXX-XXXX
当該企業等を連携先に選定した理由			
本課程の目的である〇〇の養成について、産業界のニーズに応える内容となっているかを評価してもらうため。また、〇〇であることから、本課程の教育効果について、適切な評価を依頼できると考えるため。			

連携企業等名称	所在地	担当者名・役職	連絡先
当該企業等を連携先に選定した理由			

様式1②と整合するようにしてください。

意見を取り入れる仕組み	〇〇するための〇〇委員会(会議)において、〇〇することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。
意見を申請する課程に反映させる方策	〇〇委員会(会議)で出された意見を取りまとめたものを、本課程の企画・運営を担う△△委員会に付議して教育効果等を検証し、その検証結果の報告に基づき、本学全体の「自己点検・評価委員会」において、課程の点検、評価を行う。

3. 上記以外に企業等との連携を行っている場合、その連携先・連携内容

--

*「1. 企業等と連携して行う授業」及び「2. 企業等の意見を取り入れる仕組み」において列記した企業等の概要資料(パンフレットやHPを印刷したものなど)及び企業等と連携することを示す資料(協定書等)を添付してください。

*「意見を取り入れる仕組み」の欄については、必要に応じ、様式への記入に代えて、図示する資料などを別途提出することも可能です。

*「意見を教育課程に反映させる方策」及び「意見を申請する課程に反映させる方策」の欄については、必要に応じ、様式への記入に代えて、図示する資料などを別途提出することも可能です。

(様式4)

関連する職業分野の企業・機関等への周知について

申請する課程を周知する企業・機関等

(全て記入)

- ・〇〇会社、〇〇会社、〇〇会社等の〇〇に関する企業(詳細は別紙)
- ・〇〇県、〇〇市、〇〇町、各地の〇〇センター
- ・〇〇大学、〇〇高校、〇〇専門学校

企業・機関等へ周知する方法

(具体的に記入)

- ・ホームページの公開
- ・パンフレット資料の送付、〇〇等におけるパンフレット資料の配付
- ・メールでの連絡
- ・〇〇との定期的な会合等での報告
- ・〇〇への訪問

企業・機関等へ周知する内容

(具体的に記入)

- ・プログラムの目的、概要
- ・募集要項(定員、学費、カリキュラム、〇〇、〇〇・・・)
- ・〇〇・・・

(様式5)

「女性活躍」等に該当するプログラムについて

該当するテーマ	女性活躍
	複数テーマに該当する場合には各テーマ毎に1部ずつ作成してください。
該当する理由	
<p>(端的に2~3行で記入) このプログラムは〇〇な女性を対象に、〇〇、〇〇を通じて〇〇や〇〇を養成し、女性活躍を推進していくことを目的としているため。</p>	
<p>(詳細を記入)</p> <p>現在、〇〇という問題があり、〇〇が求められている。 このプログラムは、〇〇、〇〇など、〇〇を〇〇することを目的としている。 受講生は、〇〇を通じて、〇〇という成果を上げることができる。 また、プログラムにおいて〇〇のための〇〇、〇〇という工夫も行われている。</p> <p>以上により〇〇、〇〇、〇〇という点で、当プログラムは女性活躍に資するものとする。</p>	